

なるざ 健康新聞

NO.134 令和6年8月

訪問看護ステーションなるざリハビリサービス
〒910-4103 あわら市二面2丁目302番地
TEL: 0776-77-2282
ホームページ: www.naruza.jp/

夏になるといろいろな害虫が出てきますよね。身体を刺されたり、匂いが強い害虫もいます。

今回は、夏に現れる害虫やその対策方法についてお伝えします。



1. 夏の害虫は3種類に分けられる



<u>衛生害虫</u>	感染症の原因となる病原菌を運んだり、アレルギー症状を発症させたりするような、人間の健康を脅かす害虫(蚊、ハエ、ゴキブリ、ノミ、ダニなど)
<u>不快害虫</u>	姿や形などから多数の人が不快な気持ちになる害虫で、健康に害はない衛生害虫以外のもの(ハチ、アリ、カメムシ、ムカデ、クモ、ダンゴムシなど)
<u>園芸害虫</u>	家庭園芸で栽培される庭木や花、野菜などに害を与え、農業害虫の一部に含まれる害虫(毛虫、アブラムシなど)

このように、害虫には多くの種類が存在します。さらに虫によって駆除する対策や生態も異なります。そのため、一時的な処置として殺虫スプレーを吹きかけるだけでは根本的な改善にはならず、繰り返し被害が起こる可能性が高くなります。害虫駆除を行う際には、害虫の特性や対策方法を知り、対応していきましょう。

2. 夏の代表的な害虫



<u>蚊</u>	気温 26～30℃、湿度 60～80%の環境を好むため、夏の時期に最も活発になる。さらに水たまりや水の入った空き缶で繁殖をする傾向があり、ボウフラ(蚊の幼虫)が発生する。 玄関の出入口 だけでなく、 網戸や通気口 などの小さな隙間をすり抜けるため、いつのまにか室内に居ることも多々ある。
<u>ダニ</u>	人間にとって適温より少し暑く、湿度が高い、温度 20～30℃、湿度 65%以上の場所が最適環境。ホコリやフケなどをエサにして成長していくため、特に 枕や布団、カーペット に生息。
<u>コバエ</u>	気温 30℃、湿度 70%程度の場所で多く繁殖。少量の 生ゴミやジュースの空き缶 などがあると発生する可能性が高くなる。
<u>ゴキブリ</u>	気温 25～28℃、湿度 75%以上の適温多湿の場所で多く繁殖。冷蔵庫の裏などのジメジメした場所を好み、 生ゴミや食べかす があると更に増える。

3. 夏の害虫の対策方法



<u>ダニ</u>	<p>ダニの餌であるフケやアカ、食べかす、埃を小まめに掃除する。さらに高湿度を好むため、十分な換気を行い、風通しを良くする。</p> <p>カーペットや布製ソファなどに掃除機をかける時は、さっと動かすだけでなく丁寧に行う。毛が長い絨毯や厚みがあるカーペット・ラグなどは、駆除用のスプレーをした後に死骸を掃除機で吸う。表面だけでなく、裏面や床も忘れずに掃除機がけする。布団は布団乾燥機やコインランドリーの乾燥を使い、その後しっかりとダニの死骸を掃除機で吸い込む。</p>
-----------	---



<u>コバエ</u>	<p>ショウジョウバエ類・ノミバエ類は、窓や網戸の隙間から侵入するため、生ゴミや腐敗した食べ物をそのまま放置しない。生ゴミはビニール袋等に入れて、しっかり縛ってから捨てる。</p> <p>クロバネキノコバエ類は、腐葉土や観葉植物から発生。水回りを清潔にしている・料理をあまりしない生ゴミが出ない家庭でもコバエが発生するのは、観葉植物が発生源となっているかも。</p> <p>チョウバエ類は排水口や浄化槽、グリストラップに発生。水回りのぬめりからの悪臭や、排水口からも侵入する。コバエは湿り気がある場所を好むため、排水口や水回りを清潔に保つ。</p>
<u>ゴキブリ</u>	<p>エアゾールタイプのごきぶり用殺虫スプレーがおすすめ。速効効果のある有効成分をジェット噴射でゴキブリの動きを瞬時に止めすばやく駆除できる。ただ、1匹見かけたら100匹いるというように、ゴキブリは薄暗い場所を好むので潜んだゴキブリがいる可能性がある。</p>

★虫除け効果のあるハーブを使う

その他、庭やベランダで虫の発生を防止しようとする時に役立つのが、虫除けハーブです。虫によって苦手とするハーブは異なりますので、気になっている害虫によって使い分けたり、窓や玄関周りで育ててみるのもよいでしょう。

■ゴキブリ：**クローブ・アロマティカス**

■蚊・蜂・ゴキブリ：**ハッカ**

■蚊・ダニ・ハエ・ゴキブリ：**タイム**

■蚊：**カレンソウ**

■ハエ・蚊：**バジル**



★ぶら下げ式や設置型の虫除け

ぶら下げタイプや設置型の虫除けグッズは、設置場所に困らず、簡単に使用できる点がメリットです。野外でも利用できるものも増えており、虫よけの芳香剤タイプや虫の通り道に設置するシートタイプ、光を利用した虫よけ機能のあるもの、虫が嫌う模型を設置するなど、害虫の特性に合わせて使い分けるとよいでしょう。

4.害虫の被害が深刻なら専門事業者に依頼



害虫駆除をご自身で行っていても効果が薄いと感じる場合は、専門事業者に依頼することで再発防止になる可能性が高くなります。専門事業者に依頼するメリットは以下の通りです。

●安全に駆除してもらうことが可能

適切に専用の薬剤を使って駆除を行うため、安全面にも優れています。家庭用殺虫剤は安全性が認められた商品ですが、使用者が間違った使い方をすれば、人体などにも影響が出る可能性も否定できないため、専門事業者に依頼すると安心です。

●駆除する効果が高い

害虫の発生場所や特徴などの専門知識があるので、一時的な駆除ではなく、効果が長続きすることは助かる部分です。

●害虫を見なくて済む

害虫を見なくて済む点も魅力的です。屋根や床下など確認が難しかったり、自分で確認するのは躊躇してしまったりする場所も任せられます。



暑さだけでも気が滅入りそうな夏。その他のストレスは最小限に抑えたいですね。

また、害虫は感染症発症の原因にもなり得ます。

適切な対策をとり、暑い夏を健康で快適に乗り切りましょう。